特別活動の全体計画

和歌山県立有田中央高等学校

関係法令等

・日本国憲法　・教育基本法
・学校教育法　・学習指導要領
・県教育振興基本計画

学習指導要領

集団生活や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、様々な資質・能力を育成することを目指す。

時代や社会の要請

・基本的生活習慣の身に付いた自律的態度、規範意識を育てる。
・自他の生命の安全と人格を尊重する態度を育成する。

教科との関連

〇コミュニケーション
・各教科において、自分の意見をわかりやすく表現する能力を育成する。
〇確かな学力を身につける
・生徒が積極的に学習に取り組めるよう、授業展開を工夫する。
・繰り返し学習や補習の充実によって、基礎学力を身につける。

生徒指導の方針

・基本的生活習慣の身に付いた自律的行動、規範意識を育てる。
・自他の生命の安全と人格を尊重する心を育成する。

学校教育目標

・生徒一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ能力や、未来を切り拓く創造力の育成をはかる。
・国際社会に生きる人間として基本的人権を守り、自らを律し、社会から信頼され、社会に貢献できる人材の育成をはかる。
・自然体験や社会体験を通じて、「ものを育てる心・思いやりの心」「望ましい自然環境・社会環境作りができる力」の育成をはかる。

目指す生徒像

・人々に信頼され、地域で活躍できる人材（地域社会の中核を担う若者を育てる）

特別活動の重点目標

〇 ホームルーム活動において、人間・自然に深い愛情を持ち、共に生きるためのコミュニケーション能力や環境意識を身につける。
〇 生徒会において、規律ある生活態度と自己責任能力を身につけ、地域の活性化をはかる諸活動に自主的に参加する取組をすすめる。
〇 学校行事において、豊かな感性と創造力を持って、たくましく生きる力を育成する。

特別活動の指導方針

〇特別活動の指導においては、本校総合学科の特色ある教育活動と十分関連づけた指導が行えるように工夫する
〇ホームルーム活動・生徒会活動・クラブ活動・委員会活動などを活発化し、生徒が自主的・日常的に学校の集団づくりに取り組めるよう配慮する
〇豊かな人間関係めざし、一人一人が個及び集団を大切にする共生の場を設定する
〇学校行事や生徒会行事を活性化し、積極的に行事に参加する意欲を育てるとともに、達成感を体験させる
〇生徒指導の方針をもとに、全体で指導に取り組む

生徒の実態

・基本的な生活習慣の確立ができていない生徒、不登校等課題を抱えた生徒もいる。
・基礎学力の定着と個々に応じた支援が必要な生徒が多い。
・明るく素朴な人なつこい生徒が比較的多い。

学校や地域の実態

・自転車通学生のマナー、大型店舗等での言動等、生徒のモラル・マナーに関する苦情が寄せられる。
・生活基盤に課題を抱えている家庭もある。
・地域住民は地域の学校として注目しており協力的である。

保護者の願い

・目標をもち明るく積極的に学校生活を送る
・生活習慣を確立しモラル・マナーを身につける。
・確かな基礎学力を身につける。

総合的な探究の時間の目標

・植物の育成を通して、育てる喜び、働く喜び、工夫・努力して得た成功感、成就感等を体得するとともに、食の安全についても理解を深め「いのち」の大切さを学ぶ。
・３年間の学習を通じて、生涯を通じて自分の進路と向き合い、主体的に自らの進路を獲得できるとともに地域社会に積極的に貢献できる力を育てる。

道徳教育の目標

・生活習慣、及び基本的学習姿勢の確立と自主・自律の精神のもとに規律と責任を優先できる人間の育成。
・集団への帰属意識・連帯感、奉仕の精神をもって、積極的に地域社会に参画していく人間の育成。

キャリア教育の目標

1年次・3年間で何を学ぶかや自身の将来設計について考えを深める。
2年次・様々な人との関わりを通じて、働くことや地域に貢献することに意義を見出す。
3年次・自身の課題について知るとともに、課題解決にむけ主体的に行動できる力を養う。

	A. ホームルーム活動	B. 生徒会活動	C. 学校行事
活動内容	(1) ホームルームや学校の生活づくり ア　ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決 イ　ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動 ウ　学校における多様な集団の生活の向上 (2) 適応と成長及び健康安全 ア　青年期の悩みや課題とその解決 イ　自己及び他者の個性の理解と尊重 ウ　社会生活における役割の自覚と自己責任 エ　男女相互の理解と協力 オ　コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立 カ　ボランティア活動の意義の理解と参画 キ　国際理解と国際交流 ク　心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立 ケ　生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立 (3) 学業と進路 ア　学ぶことと働くことの意義の理解 イ　主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用 ウ　教科・科目の適切な選択 エ　進路適性の理解と進路情報の活用 オ　望ましい勤労観・職業観の確立 カ　主体的な進路の選択決定と将来設計	(1) 生徒会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 (4) 学校行事への協力 (5) ボランティア活動などの社会参画	(1) 儀式的行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事
指導の留意点	・学校生活における規律を周知徹底する ・ホームルーム活動を通して、主体性や協調性を育成する ・グループ活動を通して個々を大切にし互いを高めていく ・外部講師を招いて学習等を実施し、健康で安全な生活習慣や態度を育成する ・さまざまな体験や学習を通して、積極的に適切な進路選択や将来設計について考える	・生徒一人一人が高校生として規律ある生活態度と自己責任能力を身につけられる活動を創造する ・生徒会組織や委員会活動を活性化し豊かな感性と創造力を持って、たくましき生きる力を育成する ・生徒による行事等を主体的に運営し地域との信頼関係を育む ・地域の活性化をはかる諸活動に自主的に参加する	・ホームルーム活動、生徒会活動と密接に関連させながら行事を計画する ・協調性を持って取り組み、達成感を得るような行事にしていく ・一人一人の生徒が主体的に活動でき、参加・体験できる行事を創造する